

技術講演会（薬事講演会）

(1) 日 時 平成28年12月13日（火）午後1時30分より

(2) 場 所 パレブラン高志会館2階 嘉月の間
富山市千歳町1-3-1（TEL 076-441-2255）

(3) 演題、講師及び講演内容

◇午後1時40分～午後2時40分

「ヘッドスペース法の基礎知識と

GC関連局方最新トピックスのご紹介」

講師 ジーエルサイエンス株式会社 総合技術本部
カスタマーサポートセンター GC課 田村 好 先生

今年の4月に第17改正日本薬局方が施行されたことにより、HS-GCによる残留溶媒分析が本格的に運用開始されました。それに伴い、ヘッドスペース法を含め、残留溶媒分析においてどのようなカラムを使用すればよいのか？などご相談を多数頂いております。そこで本講演ではヘッドスペース法分析に必要な基礎的解説と、GC関連の日本薬局方最新トピックスをご紹介致します。ぜひ日常業務にお役立て下さい。

◇午後2時40分～午後3時50分

「Biacore によるバイオ医薬品・低分子医薬品創薬」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 ライフサイエンス統括本部
サイエンティフィックサポート営業部 鯉沼 正美 先生

Biacore T200はSPR法により標識を使わずにリアルタイムに生体分子の相互作用をモニタリングするシステムです。特異性、アフィニティー、カイネティクス、濃度測定、低分子、免疫原性試験、サーモダイナミクス解析など幅広くご利用頂ける一方で、近年ではバイオ医薬品の品質評価までカバーし始めています。本講演では、規制関係を取り巻くバイオ医薬品や低分子医薬品の開発の最前線をお伝えしたいと思います。

◇午後4時00分～午後5時10分

「国内外の小児薬剤開発の最新状況と課題・展望」

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
臨床研究開発センター 開発企画主幹 中村 秀文 先生

欧米では小児医薬品開発が法令で義務化され、新しい剤形の検討も進んでいる。また国際連携の動きも加速している。これら世界の動きと、我が国での取り組みの現状を俯瞰した上で、今後我が国で取り組むべきと考えられる内容について述べてみたい。

(4) 懇親会 午後5時30分より パレブラン高志会館2階 瑞鳥の間
懇親会費 一名につき5,000円（当日、講演会場受付にて）

問い合わせ先： 富山県薬事研究所 担当：永井
〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1 TEL 0766-56-6026/FAX 0766-56-7285
E-mail hidemasa.nagai@pref.toyama.lg.jp